

私 は こ う 考 え る

# 「心房細動： 私はこう治療する」

プランナー

東京医科歯科大学大学院循環制御内科 磯部 光章

心房細動は罹患率が高い common disease であり、高齢化に伴ってその患者数は増加し続けています。脈の不整そのものに起因する症状に加えて、頻脈や徐脈に伴ううっ血性心不全が問題となります。最も深刻なのは心源性脳塞栓症の合併です。かつては薬物だけであった治療ですが、急速に進歩する治療法の中でその選択肢は大きく rhythm control, rate control, 非薬物治療に分けられるにいたっています。それぞれの治療法について多数例での研究成果が報告されていますが、必ずしも結果は一致しません。患者の背景は多様で、病態も様々であることから一律に治療法の優劣を決めることは困難です。さらに治療の目標をどこに設定するかによっても治療の選択肢は変化するでしょう。本企画は、6名の専門家がそれぞれの立場から個別の症例を、どのような考え方に立ってどのように治療したのかを解説する中で治療選択を論じていただいたものです。専門医の意見を今後の心房細動治療に役立てていただければ幸いです。